※作成後は赤字部分を削除の上、提出ください。

早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点　御中

**謝金支出申請書（講演会等通訳）**

提出日　　　　　年　　　月　　　日

1. 企画担当者：

研究課題名：20○○年度　テーマ/公募/奨励（※該当するものを選択）研究「（研究課題名）」

研究代表者：

1. 申請書記入者（1と異なる場合のみ）：
2. 研究会名・日時・場所

研究会名：

日時：　　　　　年　　　　月　　　　日

場所：

参加予定者数：　　　　　名

1. 通訳者のプロフィール

氏名（フリガナ）：　　　　　　（　　　　　　）（戸籍名：　　　　※異なる場合のみ）

所属・役職名：

生年月日：　　　　年　　　月　　　日

住所（居住地）：

国籍：

プロフィール：○○大学○○研究科博士課程満期退学。表象文化論、西洋近現代美術。

○○研究所代表。（※専門、研究分野等が、謝金対象者として適任であるかどうか）

1. 本拠点において、その通訳が必要とされる理由

　※チームの研究目的に関連した内容であること　※講演内容も含めて記載すること

1. 通訳に対する謝礼金額

　　　　　　　　　円（税込）○語－　○語 但、通訳謝金として

※下記内容から選択し、上限として計算・記載して下さい

（講演通訳 １時間あたり15,000円 × 　時間）

（打ち合わせ通訳 1時間あたり10,000円 × 　時間）

（出張現地通訳 1日あたり20,000円 × 　日）

以上

（2021.4.19版）